

インフルエンザ HA ワクチンの接種について

予防接種を実施するに当たって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。
そのため、予診票にできるだけ詳しくご記入下さい。

【ワクチンの効果】

予防接種により、インフルエンザに感染しても症状が軽く済みます。また、重症化することを防ぐことが期待されます。

【ワクチンの副反応（副作用）】

※ 卵アレルギーのある方は、重篤な副反応（裏面参照）を生じる可能性がありますので、必ず医師に申し出て下さい。

副反応は一般的に軽微です。

・注射部位が赤くなる、腫れる、硬くなる、熱をもつ、痛くなる、しびれる、小水疱など
→通常4～5日で消失

ごくまれですが、次のような副反応を起こすこともあります。

・蜂巣炎・発熱・悪寒・頭痛・倦怠感・一過性の意識消失・めまい・リンパ節腫脹・嘔吐・嘔気
・腹痛・下痢・食欲減退・関節痛・筋肉痛・咳嗽・動悸等
・過敏症（発疹、じんましん、湿疹、紅斑、多形紅斑、かゆみ等）
・顔面神経麻痺・末梢性ニューロパチー・失神・血管迷走神経反応・しびれ感・ぶどう膜炎等
非常にまれですが、重篤な副反応（裏面参照）を起こすこともあります。

【予防接種を受けることができない方】

1. 発熱のある方（37.5℃以上の方）
2. 重篤な急性疾患にかかっている方
3. 過去にインフルエンザワクチンの接種を受けて、アナフィラキシーを起こしたことがある方
又は、過去にその他の原因でアナフィラキシーを起こした方
4. その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した方
5. 妊娠中、妊娠可能性、授乳中の方（かかりつけ医で接種してください）

【予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなくてはならない方】

1. 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの方
2. 発育が遅く、医師、保健師の指導を受けている方
3. カゼなどの症状が出はじめたと思われる方
4. 予防接種を受けた時に、2日以内に発熱のみられた人及び発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う異常がみられた方
5. 薬の投与又は食事（鶏卵、鶏肉等）で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある方
6. 今までにひきつけ（けいれん）を起こしたことがある方
7. 過去に本人や近親者で、検査によって免疫状態の異常を指摘されたことのある方
8. 間質性肺炎、気管支喘息などの呼吸器疾患のある方

【予防接種を受けた後の注意】

1. 接種部位が赤く腫れたり痛む場合がありますが、通常4～5日以内に軽快します。
2. 接種後 30 分間はアレルギー反応（息苦しさ、せき、発疹、じんましん等）が起こることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
3. 接種後、一日は体調に注意し、万が一、高熱やけいれん等の異常が出現した場合には、速やかに医師の診察を受けてください。
4. 接種後の入浴は問題ありませんが、注射部位をこすことはやめましょう。
5. 接種後は接種部位を清潔に保ち、接種当日は激しい運動や多量の飲酒は避けてください。

（公財）岡山県健康づくり財団 保健部 Tel086-246-6256

※重篤な副反応

- ① ショック、アナフィラキシー（血圧低下、呼吸困難、顔面蒼白等）
- ② 急性散在性脳脊髄炎
（接種後数日から2週間以内の発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等）
- ③ ギラン・バレー症候群（両手足のしびれ、歩行障害など）
- ④ けいれん（熱性けいれんを含む）
- ⑤ 肝機能障害、黄疸
- ⑥ 喘息発作
- ⑦ 血小板減少性紫斑病、血小板減少
- ⑧ 血管炎（アレルギー性紫斑病、アレルギー性肉芽腫性血管炎、白血球破砕性血管炎等）
- ⑨ 間質性肺炎
- ⑩ 脳炎・脳症、脊髄炎
- ⑪ 皮膚粘膜眼症候群
- ⑫ ネフローゼ症候群

なお健康被害（入院が必要な程度の疾病や障害など）が生じた場合については、健康被害を受けた人又は家族が医薬品医療機器総合機構法に基づいて救済手続きを行なうことになります。